

船形連峰 金吹沢～笹木沢 山行報告

【山 域】 船形連峰

【ル ー ト】 金吹沢下降～笹木沢遡行

【登山方法】 沢登り

【メンバー】 CL 柘植、SL 花島、澤田路、吉川（記録）



8/5(金) 土気 19:30－外環道－東北道－山形道－山形北 IC－道の駅天童温泉仮眠

8/6(土) 道の駅天童温泉－柳沢林道終点、観音寺登山口 6:30－金吹沢下降 8:00－大倉川出合い 11:20
－笹木沢出合い 13:10－700m 付近幕営 14:00

（晴れ）観音寺登山口に駐車し、沢中一泊の身支度をして出発。穏やかなブナ林の道はとても気持ちが良い。仙台カゴを水平に巻き楠峰の南西に延びる尾根乗越場所を探す。ちょっと早合点して藪に入るが、沢形の方が違うので、登山道に戻り、もう少し先に進み小さな沢形の藪を見つけ目的の尾根に出る。ここで沢靴に履き替え SL を先頭に急斜面の藪を下りあっさり源頭にでた。次第に水も多くなり小滝や滑り台状の滝が、下降を楽しませてくれる。自分は、水に浸からないよう苦勞するが、潔くツボに滑り込む S さんは頼もしい限り！クライムダウンできそうな 7、8m の滝が現れ、ここは、左岸を高巻き懸垂下降で降りる。この時、尾根の右下方、ザレ場の先に大倉川の流れを見て、反対側の沢床におり、さらに 8m の滝を懸垂で大倉川に降り立つ。今日の核心と思われる高巻きが終わりホッとする。その後、赤倉沢が入り込み水量も多くなって、綺麗な沢となったが、森林軌道の残骸が、流れに洗われている光

景も目に映る。そう遠くない昔、奥深い山中に林道を通し、トロッコを走らせ、夢を抱いた先人がいたのですね！笹木沢の出合は、右岸の植林帯を大倉川に平衡して歩き、正面に沢が見えたら、藪を下り、自然のダムを越え笹木沢へと降りる。



観音寺登山口にて



金吹沢 8m滝の懸垂下降



大倉川出合の滝



大倉川の森林軌道の残骸



笹木沢に入ると明るい溪相



幕場を探しながら歩くが、なかなか良いところがない

ナメ床に陽が差し込み癒しの溪相に変わった。幕営適地を探しながら、5、6mの登れる滝を交えナメ床や河原をひたひた歩き 700m 付近の台地に幕営地を見つける。薪を集め、タープを張り今夜の宿を確保したら、Sさんが、「ちょっとあそびに行ってきた〜す」？残りの3人は焚火遊び！2時間後お土産をぶら下げ帰ってきた。冷蔵庫で冬眠していたブドウ虫も凄いけど、ブドウ虫に触れることも凄い！・・・

そんな訳で楽しい夕食をありがとうございます。タープも上手に張れ快適でした。



今日のお宿を求めて前進



いい幕場を見つけてタープを張る



澤田路さんの釣りの成果



焚き火の宴会は沢登りの至福のひとつ

8/7(日) 700m 付近幕場 6:30－大滝 8:40－登山道 11:40－観音寺登山口 12:50－天童温泉ゆびあ入浴
－山形北 IC－山形道－東北道－磐越道～常磐道－帰葉
(晴れ) 焚火をしながら和やかに朝食を済ませ出発する。



4mの奥に2段8m滝が見える



8m 滝は左の水際を登る

少し進んだ沢中にケルンを見つける！昨日ここを通過したUさんだ！！ケルンを前に記念写真を撮る。
間もなく現れる8mの滝は、SLのリードで高巻き、懸垂で滝口に下りる。ここの高巻きは足場が悪かった。次の8mの滝もロープで確保して登る。直ぐに一目でわかる三段30mの大滝が現れた。



前日福島登行会に参加した薄井さんのケルン



8 m滝も左の水際を登る



大滝(鎧滝)も左の水際を2段目上部までフリーで登る



ビレー地点から足元を見るとかなりの高度感



3段目の最上部をリードする吉川さん



ラストを登る花島さん

引き込まれるように進んでしまい、CL にロープをつけるように指示され、三段目のリードをさせてもらった。この時、SL に振れ止めの支点を取るよう教えてもらう。河原歩き、小滝、ナメ床歩きと単調ながらもお助け紐のお世話になる事もある。970m の二俣を右に入り、ブナ林の中の浅い沢形が、蛇行しながら流れが緩やかになってくると源頭も近づき、水が消え、滑る急斜面を一登りで藪漕ぎもなく登山道に出た。クールダウンしながら下山していると、登りで気付かなかったブナの巨木と言うより老木を見つける。何百年この森を守り続けているのでしょうか？ほどなく駐車場に到着。

今季、初の沢泊まりを楽しみました。CL、SL、釣り師のSさんありがとうございました。



大滝のすぐ上の2段 10m滝



小滝が連なる



4m 滝



3m滝



すっかり森のなかの小川となった笹木沢



帰路の登山口近くにある「山の王」

記録担当：吉川